

大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第4号

校 訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 **はつらつとした生徒、地域に輝く学校** 令和 3年 7月 1日 (木)

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

『輝き』

校長 小熊 誠

5月31日の壮行会から始まった、2年ぶりの学校総合体育大会。大原の生徒たち、輝いていました。今までのように、大きな声の応援や、ハイタッチ等はありませんでしたが、その分集中した生徒たちの、一挙手一投足が手に取るように伝わってきました。息遣い、ため息、グラウンドや体育館の床を踏み込むシューズの音、バットやラケットを振るときの音、ユニフォームのこすれる音、そして生徒たちの全身から溢れ出る闘志、汗、赤く染まった顔、感動でした。ラスト数秒まで勝敗の分からない接戦を繰り広げたなか絶妙のタイムアウト、先生と選手の気持ちが一体となった動きを感じた男子バスケットボール部。先制されなかなかに追いつけないとき、「声は、文句ではなく前向きな声にしようぜ」と声を掛け合っていたサッカー部。ワンプレー、ワンプレー、円陣を組み先生と選手が次の動きを丁寧に確認しあっていたソフトボール部。熱中症との戦いもあったなか、選手・先生・保護者が一つになって支えていた女子ソフトテニス部。組み合わせの妙に阻まれた団体の悔しさを個人で爆発させた男子ソフトテニス部。保護者の掲げる横断幕を支えに、球数制限やケガもあり総出で戦っていた野球部。急遽大原が会場になったため、身を粉にして準備・運営を手伝っていた男女卓球部。スタンドの保護者の気持ちと選手の動きが一体となっていた男女バレー部。選手・部活動指導員・先生・保護者の気持ちが一つになっていた柔道部。武道館に響く太鼓の音で始まり、身の引き締まる思いを感じた男女剣道部。唯一試合に1年～3年で臨み勝負をかけた女子バスケットボール部。痺れました。まだ、陸上競技部・吹奏楽部・演劇部は、最後の勝負を残していますが、私たちの宝である生徒たちは、それぞれの輝きを放っていました。神々しささえ感じました。大原の、そしてさいたま市の代表として、サッカー部・男女ソフトテニス部・柔道部・陸上競技(通信)・水泳が県大会に進みます。さらなる活躍に御期待下さい。

そして、7月10日には第68回体育祭があります。この後校庭は、改修工事(工事に予定変更があったため8月いっぱい使用できることになりました)に入ります。今まで生徒たちを、鍛え、育み、守ってくれていた今の校庭での最後の体育祭です。6月26日には保護者の皆様も感謝の気持ちを込めて校庭の除草作業を行っていただきました。そんな校庭への全ての感謝の気持ちを力に変え、思いっきり味わい、使い尽くしたいと思います。しかし、残念ながら今年も保護者・地域の皆様には、生徒たちの十分なソーシャルディスタンスを確保した応援席と、熱中症予防のためのテントを設営させていただきため、応援を控えていただくことにしました。本当に申し訳ございません。その分、生徒たちには、今できる最大限の活動をさせてあげたいと考えています。感染予防・拡散防止を考えた新種目や、「大原前進プロジェクト」発案の縦割り種目も登場する予定です。スローガンは、「3CAN 感謝 感激 感動 DISTANCE でつかもう BIG CHANCE」生徒たちの、生徒たちによる、生徒たちのための体育祭。どんな「3つの感」が体感できるのか、そしてどんな輝きを放つのか、今からワクワクしています。皆様、生徒たちの笑顔溢れるお土産話に御期待ください。

最後に、「まん延防止等重点措置」の延期もあり、まだまだ先の見えない状態は続いています。大原では、生徒たちの健康と安心安全を第一に、今できる予防・感染拡大防止対策を万全に、学校の主役である生徒たちの輝く場を少しずつ広げていきたいと考えています。どうぞ御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。皆様もお体には十分御留意ください。



希望の登校 笑顔の活動 満足の下校